

健康ワンポイントアドバイス

発行：十日町市中魚沼郡医師会

発行日：平成27年5月発行

第156号



● ピロリ菌って？

一般財団法人 上村病院 院長 上村 斉 先生

最近、TV や雑誌などでたびたび紹介されているのでご存知の方が多いとは思いますが、おさらいしましょう。

【どこに】 胃の表面の粘膜層に住んでいます。胃は消化液である胃酸が分泌されているため、ピロリ菌はアンモニアを自ら産生し身の回りを中和して暮らしています。

【いつ感染するの？】 はっきりとした結論はありませんが、幼少時の免疫がしっかりしていない時期に感染します。成人してからは感染しないと言われています。

【名前の由来】 正式名称はヘリコバクター・ピロリ菌と言います。ヘリコはヘリコプターのような鞭毛をもち、バクタは細菌、ピロリは胃の前庭部を指し、この3つを組み合わせたものです。

【害】 ピロリ菌は、ばい菌なので感染すると胃に炎症をおこします。

【病気】 この時点では腹痛などの症状が出ない方がほとんどですが、さらに体調不良やストレス、食事などの他の要因が強くと胃の表面だけでなく深部にまで炎症が進み胃潰瘍を発症し、腹痛嘔吐下痢などのため医療機関を受診することとなります。また、永年ピロリ菌が住み着いた胃は、慢性胃炎となり従来の正常な胃の形態が変化して胃癌発生の原因となります。

【なぜ日本に胃癌が多いの？】 日本や中国などアジアの国々は胃癌大国であり、アメリカや欧米諸国は胃癌が少ないとされています。これはピロリ菌の強さの違いによるものです。日本型は胃に対する炎症を起す毒素を産生している反面、アメリカ型は産生していないか弱いのです。

【胃癌検診】 日本では以前より胃癌検診を行っています。胃透視（バリウム）・胃内視鏡（カメラ）に加え、最近ではABC検診という方法も始まって来ました。これはピロリ菌の感染の有無と胃の健康度（萎縮度）を組み合わせたやり方です。みなさんも是非検診を受けて病気の早期発見・予防に努めてください。

【治療】 ピロリ菌は、ばい菌ですので、抗生物質を内服して退治します。除菌療法といいます。医療機関を受診してください。

